



三億九千万円 四十四年度決算を見る

九月定例議会で承認された昭和四十四年度決算の概要は次のとおりでしたのでお知らせいたします。

剩余金一、七〇〇万円	子供から老人まで、町民の
歳入、歳出決算額は、	教養の場、いこいの場として
歳入 三九三、五二一千元	気軽に、広く利用され、町民
前年比一五・二〇〇千円増	福祉の向上と融和が図られる
(伸び率六・二、四%)	ものと期待されます。
歳出 三七六、一四二千元	次に各部門における主要な
前年比一四八、五三〇千円増	施設の成果を挙げてみます。
(伸び率六・五、三%)	1、総務部門
剩余金一七、三七九千円	防護柵(交通安全施設)
なり、財政調整積立金として	一、一五六
九〇〇万円を確保して、後年	2、民生部門
度の事業資金等、財政の基盤	五〇〇
を倍し、健全財政を維持しつ	福祉センター建設
つ、町民生活に密着した施策	七六、六三一
が執行されるようつとめてい	(内起債三〇、〇〇〇)
るものです。	一三〇
町民待望の福祉センター	児童遊び場
(内補助五〇)	一〇〇
	児童共同飼育所
	一四、八七九

町民体育大会中止の弁

公民館長 佐藤善次郎
スポーツの秋だ。若手県では国体がたけなわである。こんな時節に標榜のような一文を草するのは、何とも心が重たい。当町の体育大会は町村合併以来十七回の歴史を有している。その性格も二転三転している。最初は大会の性格の中に町民の融和を目的とし、更に旧町村毎の勝敗をきめる方式をとったが、その後、対抗意識の強まるのを求めて、混成された団体競技に主眼をおき、体育祭的性格をもつよう改善された。それが最近になってマンネリ化し、参加者も固定化された。何んとかこの弊を打開して、町民全体のスポーツ大会にすべく体育指導員が中心となって研究し、

他県まで足を伸ばして視察の結果内容的改善は見るべきものがあつたが、根本的な改革は出来ず今日を迎えた。このことに思いやんだ町長当選では去る九月四日、町長名を以て関係者(町議会議長、副議長、教育委員、公民館長)が召集され活発な意見の交換が行なわれた。体育大会の用論も出た。又大会の今後の功績を高く評価した継続論も出たが結核今年度は中止と決まされた。理由として、先ず総仕上げと見て、来年度から構想を新たに再出発すべき今年度はその準備期間とするためである。私は思う。社会的見地から見た町民スポーツには二つの行き方が

【第157号】
昭和45年10月15日発行
非売品
発行所 国見町公民館
発行人 佐藤善次郎
編集人 佐野貞治
印刷所 国見印刷所

(町の人口)
昭和45年10月1日現在
世帯数 2,585戸
人口 { 男 5,837人
女 6,293人
計 12,130人

果実選果所一三、五八一	農業共済事業	二五〇
近代化(機械)施設	牧野利用組合	一三〇
四、三五〇	町土地改良区	二八六
(内補助二八、五二〇)	西根土地改良区	五〇〇
六、〇九二	国見町養蚕農協	一〇〇
稲作特別対策事業	農協短期成園事業	一〇〇
一、五九一	果樹短期成園事業	一〇〇
4、農林部門	集团的生産組織助成	一七二
石母田水路	二、六〇五	
(内補助一、四四三)	馬場農道	一、〇四九
二、四二九	(内補助一、〇二一)	
西額農道	三、六五一	
(内補助三、〇九四)	上合水路	三、四二一
三、四二一	(内補助二、三三三)	
川前水路	三、六七五	
(内補助二、六八八)	稚蚕共同飼育所	一四、八七九

昭和44年度会計別決算状況 (単位千円)

会 計 別	歳入	歳出	残高
一般会計	393,520	376,141	17,379
国保特別会計	99,087	94,861	4,226
育英	503	411	92
藤田財産区	579	496	83
入山	1,687	1,597	90
大木戸	66	50	16
水道事業会計	19,284	16,818	2,466

昭和44年度一般会計歳入歳出内訳 (単位千円)

区 分	決算額	構成費	43年度構成費
国庫	266,965	67.8	65.0
国庫支出金	11,622	3.0	5.2
県地方交付金	64,977	16.5	6.9
県支	139,851	35.5	45.1
普通	131,908	33.5	42.5
自動車取得税交付金	7,943	2.0	2.6
交通対策特別交付金	5,528	1.4	1.4
町債	44,800	11.4	6.3
自主財源	126,556	32.2	35.0
分担金	57,717	14.7	23.3
分担金	10,807	2.7	1.4
使用料、手数料	6,631	1.7	3.3
財産	2,475	0.6	0.4
越入	7,309	1.9	2.5
収入	33,900	8.6	3.2
収	7,717	2.0	0.9
計	393,521	100.0	100.0

病気の早期発見 早期治療を
この数字は四十四年度中に町の国民健康保険の会計(八千六百四十万円)とみなさんが病院、入院などの窓口で支払った三割分(三千七百六十万円)の金額です。これに各家庭にある富山の配置薬と薬局から買った薬品代を含めるとどの位に増えるでしょうか。

生活の安定は健康から私たちが健康で明るく、豊かな生活を望むのですが、生活費に対する医療費の占める割合は非常に高いものです。以前は貧困の八割まで病気によるものとされてきました。国民健康保険制度は、私たちが健康増進と、医療の相互扶助により、生活の安定を図ることを目的としております。現在国保では七割割付を奨励しておりますが(八十才以上の老人は十割割付)、昭和四十四年度の国保会計決算の概要を次の通りお知らせします

昭和44年度一般会計目的別歳出内訳 (%)

区 分	決算額	構成費	43年度構成費
社会	9,615	2.6	3.6
義務	50,518	13.4	24.5
民生	93,813	24.9	7.0
生産	12,082	3.2	5.5
林業	99,170	26.4	15.9
工業	5,260	1.4	1.9
土木	42,080	11.2	14.8
教育	10,071	2.7	3.2
復旧	43,171	11.5	18.5
災害	2,416	0.6	1.8
債	7,743	2.1	3.2
支	203	0.1	0.1
計	376,142	65.3	100.0

お悔み申し上げます
(九月中に亡くなられた方 敬称略す)

死亡日	氏名	年齢	住所
28	大場ハツコ	71	石母田駒場39
20	高橋 廣	81	徳江 佐野台20
17	村上 喜平	72	大木戸 新田山8
15	村島 喜平	72	徳江 佐野台20
14	木村 イソ	65	徳江 佐野台20
9	高橋 廣	72	徳江 佐野台20
28	大場ハツコ	71	石母田駒場39
20	高橋 廣	81	徳江 佐野台20
17	村上 喜平	72	大木戸 新田山8
15	村島 喜平	72	徳江 佐野台20
14	木村 イソ	65	徳江 佐野台20
9	高橋 廣	72	徳江 佐野台20

踏切事故をなくそう
待たずか30秒
踏切では必ず一旦停止
1 踏切を通るときは一旦止まり、右、左を見て列車のこないのを確かめてから通りましょう。
2 踏切警報機の鳴っている時は絶対に通行せず、列車の通過を待ちましょう。
3 上り列車が通過しても、下り列車が通過することにも注意し、通行は止めましょう。
4 線路の通行は止めましょう。
5 子どもの線路付近での遊びは危険ですからみんなど注意しましょう。
6 駅構内の通行は止めましょう。
7 万一、踏切上で車がエンストなどで危険な状態の場合などは、踏切支障報知装置を使いましょう。
8 線路の歩行、列車直前横断などは機関士が発見し危険を感じて列車を止めた場合、歩行者は列車支障損害賠償金を徴収されます。

酒のみ・無媒運動をなくそう

玄米食など

長生きのヒケツを

(牛尾先生講演会)

明治学級だより

九月十五日午後二時から福祉センターで、牛尾先生から健康問題のお話を聞く。「敬老の日」の贈り物として健康長寿のお話とあつて出席者も二百人を越す盛況。丈夫で長生きすることは万人共通の願いである証だ。

学習のお知らせ

十月八日は町の老人クラブ大会で、七〇歳以上の方はみんな出席され、水野先生のお話をおききし、お話をきき、七〇歳以下の方にもぜひきかせたいと思います。そのうちわが学級でも一度先生においでいただくことにしましょう。

十月二十九日には「食生活の研究」といきましよう。牛尾先生や藤田先生からいろいろ結構なお話を伺いして、前途が明るくなったような気がしますが、実行しなければなんの効果もありません。百の議論より一つの実行、健康食、老人食の研究の一環として、食米飯の炊きかた、食へかたを中心に、実習を通して研究をいたします。場所(調理室)午後一時から

健康食の研究

時：十月二十九日(水)
代表者(五〇人)による
実習：午前九時から
一般による研究：午後一時から

治に居て乱を忘れまい

いよいよ秋だ。夏鳥が去って冬鳥がやってくる。これを候鳥といふ子ども時に習った。その自然のめぐりのようにまた選挙がやってくる。そしてはげしい選挙、はなやかな選挙運動が展開される結果われらの選良が生まれる。自然の摂理ともいべきこの営みの中から毎回「違反」を出している。ある人はこれを「選挙公害」だと揚言している。暴言も甚しい。こんどこそは

明正選挙を実行して汚名を返上するよう「ただ今」から心を用いた新しい二例を左に実行したい。
(1) 陣中見舞をやめよう。候補者から金品を受けとらないようにしよう。
(2) 候補者、運動員に対し明確く正しい選挙を推進する旨の誓約をとろう。
(3) 公選法によらない選挙も明るく正しく行なわれるよ

野菜や果物の中に肥料や農薬の有害成分が含まれている場合がある。
○アハハハハと大ごえで笑いつ陽気に暮らせ。
(その他くわしいことは先生の著書「菜食の効用」をごらんください)

から実習の報告、講話、映画、話し合い
講師：社団法人生命科学協会
参加者一〇〇円

電気製品の買いかた講習

東北配電より
日時 十月二十八日(水)
午後一時半
場所 福祉センター
あなたのお宅に電気製品がいくつあるか数えてみたことありますか? 家庭電化の声が出てから何年... わたくしたちのまわりは文字どおり電気製品でうずまわっています。ところでこのほう大な電気器具や機械をわたたくしたちははどれだけ使っているか。ちよつとの知識の不足から、否知識の不正確さから、せつかくの宝を持ちくされにしないでいようか。殊にその買いかたに至っては全くのあたたまかせの業者まかせマスマスマかせ、中にはお隣りまかせもあるといひます。



写真ニユース 9月15日でも敬老会が... 写真は藤田先生(福祉センター)

としよりと青年

◎若い者から老人への希望と不満
○生活への干渉過度
○いづれもガサガサしてうるさい
○家の内部のことを他人に話す
○夢のない実用主義一点張り
○自分中心的である
○自分に環境を合せようとす
○孫をあまやかす
○頑固(馬鹿正直)で融通性がない
○話をしにくい
○昔のことをおしつけれ
○不必要な物を大事に保存する
○愚痴をこぼす
○みだしなみに気がつけてほしい
○子どもの前で親のメンツをつぶすようなことはしてほしくない
○時代の流れをよく知って欲しい
○老人から若い者への希望と不満
○早寝早起きすること

わが公民館では、果のご協力をいただきました。
開きまして、町民皆様のことを主権
福島県民室
国見町公民館

あつかし俳句会(九月二十六日)
兼題「曼珠沙華」「罌粟」 雑二句
席題「秋の雨」
湯上りの助さすりけり罌粟
胸はりて野道を行くやいわし雲
いし雲百性ひろき野に散らばり
故里の日和り円かに曼珠沙華
沼の竿に交る罌粟
この老の後架通いや秋の雨
牛追ふて手折りに燃る曼珠沙華
曼珠沙華写して燃ゆる裏の池
灯台の夕映えに染み罌粟
親の股くぐり仔牛や罌粟
あてにせぬ雨重たし虫の声
古手紙焚いて俄かに秋来る
曼珠沙華にいき者の如むち打たる
後悔の次から次といわし雲
小さき子のはしやく声あ罌粟
三階の鏡にうつるいわし雲
スモッグと過疎にさまよういわし雲
曼珠沙華咲いてなき子の声聞ゆ
悪蓮の歯並美し曼珠沙華

お招きし、わが町の歴史と文化財についておききします。
町民各位のご来聴を歓迎します。

わが町の歴史と文化財を知ろう
文化講演会のお知らせ
時日 十一月九日(月)
午後一時半
会場 国見町福祉センター
講師 福島大学助教授 小林 清治先生
わが町は、世にもめづらしい古碑、古文書をはじめ貴重な遺跡や出土品などさまざま文化財がたくさんあります。これらの文化財を一つ一つ解明することによって、わが町のつくり変りがよくわかりま

おめでとうございませう
(九月中出生届をされた方 敬称略す)
出生日 氏名 親の名と続柄 住所
8、19 大槻 晋一 晴美の長男 藤田 北一
9、19 菊地 美佳 頭一の長女 藤田 上野台36
22、20 佐久間 辰夫 勝男の長男 藤田 上野台19
23、23 三浦 研二 勝男の二男 塚野 中沢29
吾妻 慶一 進一の長男 山崎 北谷館8
野村 幸夫 政一郎の二男 小坂 板橋2
瀬戸 健博 健二郎の長男 山崎 南町田22の7
26、26 榊 友紀博 友一の長男 藤田 南62
28、28 大勝 浩美 重雄の三男 藤田 東原18
9、3 東沢 宏二 貞男の長男 藤田 南2の1
7、6 菊地 千春 良一の長女 石母田 井天沢53
高橋 宏美 友一の長女 西大 藤田 南22の2
野村 哲也 義悦の長男 藤田 熊ノ前22の1
佐久間 成則 真一の二男 藤田 中沢11
15、10 実利 昭子 友一の長男 藤田 中沢10
16、15 村上 昭子 友一の長男 藤田 中沢10
17、15 近江 幸子 美之の二女 藤田 日波四5
18、15 高原 拓宏 正芳の長男 藤田 小坂11
19、15 高原 英知 正治の二女 藤田 馬場前28の5
21、15 松浦 裕子 孝治の長男 藤田 西大 枝室39
22、21 佐藤 英知 正則の長男 藤田 上野台2の30

盆栽展示 交換即売会
国見町園芸愛好会(会員一五〇名)会長熊田一裕氏)では藤田鹿島神社の祭礼日をえらび、日頃愛用して来たさまざまな盆栽(自作のものに限る)を一堂に持ち寄り、これを一般に公開することになった。要項は次のとおりで関係者の出品はもちろんで、町民皆様の来観を望んでいる。

一、会場 大千寺境内
二、日時 十月十九日午前九時から午後五時まで
十月二十日午前九時から午後五時まで
十月二十一日午前九時から午後五時まで
三、搬入搬出 各自の責任で、次の時間に正確に行なう
搬入：十月十九日午前七時から同九時まで
搬出：十月二十一日午前七時から同九時まで
四、交換 会期内に会員同志で行なう
評価は専門家に依頼する
五、即売 会員一人十以内で一般に對し即売のあつせんをする

おめでとうございませう
(九月中出生届をされた方 敬称略す)
出生日 氏名 親の名と続柄 住所
8、19 大槻 晋一 晴美の長男 藤田 北一
9、19 菊地 美佳 頭一の長女 藤田 上野台36
22、20 佐久間 辰夫 勝男の長男 藤田 上野台19
23、23 三浦 研二 勝男の二男 塚野 中沢29
吾妻 慶一 進一の長男 山崎 北谷館8
野村 幸夫 政一郎の二男 小坂 板橋2
瀬戸 健博 健二郎の長男 山崎 南町田22の7
26、26 榊 友紀博 友一の長男 藤田 南62
28、28 大勝 浩美 重雄の三男 藤田 東原18
9、3 東沢 宏二 貞男の長男 藤田 南2の1
7、6 菊地 千春 良一の長女 石母田 井天沢53
高橋 宏美 友一の長女 西大 藤田 南22の2
野村 哲也 義悦の長男 藤田 熊ノ前22の1
佐久間 成則 真一の二男 藤田 中沢11
15、10 実利 昭子 友一の長男 藤田 中沢10
16、15 村上 昭子 友一の長男 藤田 中沢10
17、15 近江 幸子 美之の二女 藤田 日波四5
18、15 高原 拓宏 正芳の長男 藤田 小坂11
19、15 高原 英知 正治の二女 藤田 馬場前28の5
21、15 松浦 裕子 孝治の長男 藤田 西大 枝室39
22、21 佐藤 英知 正則の長男 藤田 上野台2の30